

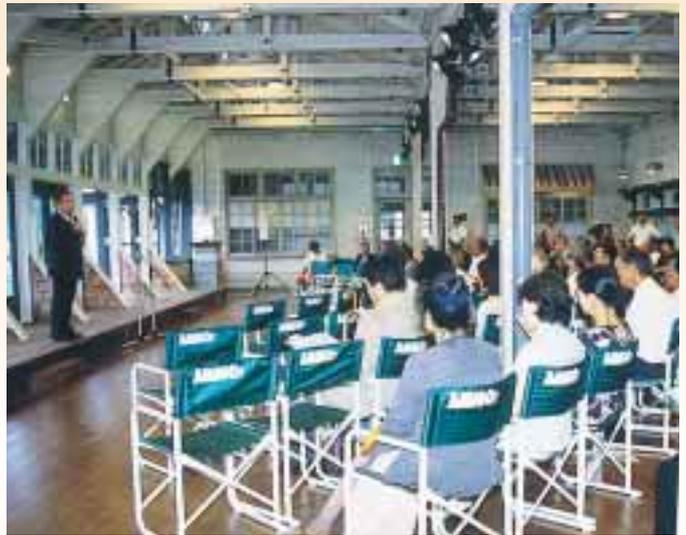


いるま

市議会だより

平成12年9月
定例会号 **NO112**
2000 / 平成12年11月1日発行

編集 議会だより編集委員会 発行 入間市議会 〒358-8511 埼玉県入間市豊岡一丁目16番1号 ☎(042)964-1111



文化創造アトリエ誕生 - 旧繊維試験場が変わる -



いるま市議会だよりは再生紙を使用しています

第3回定例会

入間CATVで市議会

本会議を全面放映開始!!

平成12年第3回定例会は、8月31日から9月21日までの22日間開催され、提出議案30件について審議された。

内容としては、人事案件2件、条例4件、一般議案1件、補正予算10件、決算認定11件、請願1件、議員提出による決議1件であり、人事案件2件については、同意と決定し、請願1件については全員一致で採択と決定した。また、本定例会から入間CATVで市議会の全面放映(議会開催日の午後6時から11chにて)がスタートした。

条例

【一部改正】

入間市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例

中心市街地における市街地の整備改善及び商業等の活性化の一体的推進に関する法律の規定により地域振興整備公団が出資する事業について、市の普通財産である不動産等を出資できるようにするものであり、具体的には市が所有する豊岡第一南地区第一種市街地再開発事業に伴う駐車場用地を第3セクターへ出資するもので、審議の結果、附帯決議を行ない、全員一致で原案可決。

入間市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部を改正する政令が施行されたことに伴い、退職報償金の額を一律2千円引き上げるもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

社会福祉事業法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例

社会福祉事業法の一部改正に伴い、入間市福祉事務所設置条例、社会福祉法人に対する助成の手続を定める条例、入間市市営住宅条例をそれぞれ一部改正するもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

入間市学童保育室設置及び管理条例の一部を改正する条例
宮寺地区に定員30人の学童保育室を設置し、併せて「放課後ケアワーカー」を「放課後児童指導員」に改めるなど字句の整備をするもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

議員提出議案

決議

議案第73号入間市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例に対する附帯決議

当該(仮称)第2パークビルが、将来他の第3セクター等と合併した場合、その第3

セクターに存する市有財産等を当該条例によって市長の権限で投資することの可否が論議されたが、当該条例ではないずれにも読み取られる懸念がある。
そのため当委員会は、合併等によって新たに市有財産等を出資する場合は、一般議案として市議会に提案することを決議する。

平成12年9月21日

埼玉県入間市議会

請願

テニスコート建設に関する請願

本請願は、入間市小谷田2の1の50、入間市テニス協会福永紀昭氏外3千83名より提出されたもので、河川敷以外の場所に12面のテニスコートを建設し、全面人工芝として利用効率を上げるよう求めるもので、審議の結果、全員一致で採択と決定。



人事案件

人権擁護委員候補者の推薦に同意

人権擁護委員候補者を法務大臣に推薦するため、市長から議会に意見を求めたいとの議案が提出され、全員一致で適任者と認め同意と決定した。

中島 昭治 氏

入間市大字根岸 259 番地

三木 七七久江 氏

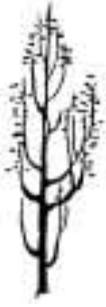
入間市大字西三ツ木 91 番地

物品購入契約の締結について

水槽付消防ポンプ自動車 I A 型(西武分署用)の購入契約の締結について

契約金額 2千352万円
供給者 株式会社日本工
レフアント

納期 平成13年3月15日



委員会行政視察報告

議会運営委員会

視察日 8月7日～9日
鹿児島県鹿児島市 議会活性化の取組について、議会運営等について
鹿児島県国分市 議会運営等について
宮崎県宮崎市 議会運営等について

鹿児島市は、鹿児島県のほぼ中央に位置する人口約54万6千人の都市である。平成8年の中核市移行を機に議会の監視機能、政策立案機能の充実及び強化を図るため、他都市との比較検討を行い、多くの機能充実策がなされた。そして、議員の条例定数を2人多い50人とすることから始まり、事務局の職員定数も2人多い31人と体制を一新した。また、特色ある施策の一つとして各常任委員会に1人づつの専属政務調査員を配置する制度を導入した。これにより市政の課題等さまざまな情報が提供されるようになり、議員活動が非常に活発となった。さらに、質問通告書の事前公開、会議録の閲覧及び貸出し、傍聴席に音声伝達システムの設置など開かれた議会運営が行われていた。当市においても将来的に独自の施策を考

る上では非常に参考となった。国分市は、薩摩半島と大隅半島の接点に位置する人口約5万2千人の都市である。議会運営の特色としては、議会の申合せ事項が明文化されていることである。内容的には、会議規則、委員会条例、議会運営委員会の関係など内規にいたるまでの取決めがされているもので、当市においても必要性を感じた。また、当市のような各党派の代表者による形式の協議は行っており、すべて議会運営委員会において協議・決定がされていた。議会運営委員会本来のあり方について考えると当市においても今後、検討する必要があると感じた。



鹿児島市にて

宮崎市は、宮崎県のほぼ中央に位置する人口約30万4千

【公開講座のお知らせ】

江本央氏による 公開講座

えもと なかば
と き 11月15日(水)午後6時45分～
ところ 入間市産業文化センター(ホール)
テーマ 史上最大のミステーク - 外断熱革命 -
参加費 無料
主催 入間市議会
協賛 入間市

人の都市である。議会運営の特色としては、一般質問の事前公開を行っていることである。これは、議員の質問する内容や日にちを掲載したチラシを作成し、庁舎内や各公共機関に備え置くものである。さらに、一般質問の内容については、宮崎日日新聞の県中央版に掲載している。この新聞掲載は、平成8年から開始されたが、掲載前と後では傍聴者数が年間約500人台から約700人台近く上がっており、効果が出ているところである。当市においても一般質問の事前公開については、今後、検討する余地があると感じた。

9月定例会の一般質問は、質問者18名により9月11・12・13日の3日間行われました。

一般質問

(質問・答弁内容は、質問者本人が要約したものです。)

個人商店への支援、介護保険改善

金子 健一議員

質問 市民が近所で買い物ができなくなっている。大型店は10年で2倍となり、一方で個人商店の廃業が相次いでいる。

市長 深刻に受け止める。

質問 個人商店は、住み続けられる地域の前提条件、経済効果もはかり知れないのでは。

市長 大型店に圧迫される現状はノーマルでないが、反面、大型店の経済効果もある。

質問 経済効果は、大型店より地域商店街の方が大きい。

市長 商業者の意欲に期待する。

質問 京都の意欲ある商店街、富山ではユニークな空き店舗対策がある。全国の優れた取り組みに学ぶべきでは。

市長 情報を提供し、その中から方策を見つけ出してもらう努力をお互いにしたい。

質問 介護保険は、判定ソフトの欠陥や基盤整備の遅れ、利用料負担の重圧など問題が山積だが、当市の利用状況は。

市長 居宅サービスは、実施前より利用が増えている。

特養は入所希望者が激増した。質問 利用料負担が重く、利用を減らしている人もいるが。

市長 それなりの負担は必要、耐えられない人にはケア。

質問 利用が少なく、事業者は経営困難に陥っているが。

市長 期待して多く参入したが、予想したほど利用がなかった。様子を見たい。

質問 利用促進のため低所得者への補助を拡大すべき。

市長 利用しないと損だという考えは違うと思う。

質問 介護保険における、そのような一般化は理解できない。

「道の駅」の整備について

高山 振二議員

質問 近年、安全で快適な道路環境が求められている。

自動車社会の中で長距離ドライブの増加と高齢化社会を背景に高齢者ドライバーや女性ドライバーが増加している。

このことから、一般道路における休憩施設の必要性が求められている。休憩施設では、沿道地域の文化、歴史、名所、特産品等の情報を提供することができ、特に地域の青果市

場の閉鎖等が話題にあることから農業関係者の販路の確保にもつながる。また、新しい産業「起業家」の可能性と地域の活性化が図れると思うが。

市長 国道沿いに設置できれば、地域の活性化が図れる。今後、担当課で十分検討をしたい。

質問 金子地区中神の霞川上橋付近に老人憩いの家等を併設した親水公園の整備を。

市長 積極的に取り組む。県等の関係機関と協議し、若人から老人まで幅広く利用できるような地元の方とも協議を進めていく。

質問 金子地区寺竹・南峯の霞川護岸の整備を。

市長 金子地区のコスモス会がお花畑として、きれいに管理していることは承知している。平成14年頃から整備を進める。

質問 金子郵便局から中央橋、金子公民館、旧青梅街道までの道路の拡幅整備を。

市長 金子郵便局から中央橋までについては、平成13年から15年までに整備をする。また、金子公民館から旧青梅街道までについては、関係地権者と協議し、協力がいたされるよう進めていきたい。

市民要望に添った子育て支援を！

箕口 順子議員

質問 育児不安や悩みへの支援として保護者が参加しやすい、(1)「子育て講演会」を実施すべきと思うが。(2)発達段階に応じた「子育て出前講座」を各公民館等で実施を。

(3)若いお母さんたちに子育ての情報提供の一環として、「子育てリーフレット」の発行を。(4)エンゼルプランの実態調査結果でも、遊戯施設のある公園の設置要望は50%と大変多い。公園の整備又は遊具設置の予算を拡大すべきである。

市長 (1)子育て支援センターを中心とした講演会を充実させていく。(2)茶の都出前講座又は会場を検討し実施していく。(3)子育て支援センター内でリーフレットを発行し、配布しているが、今後PR活動もしていく。(4)市街化区域には、子供の遊び場が特に少ないので、公園の用地取得や母親のニーズに応えるよう遊具の設置も積極的に推進していく。

質問 介護保険制度がスタートして半年になる。利用者の不満や疑問等に応じる介護相談員派遣事業を当市でも導

入し、利用者と事業者との橋渡し役として実施すべきである。

健康福祉部長 直接、市の窓口への苦情は少ないが、市内の居宅介護事業者から苦情を多く受けているので、今後導入の方向で検討をする。

質問 市発行の「老人保険受給者証」を高齢者の利便性を考慮し、各支所でも発行できるようにすべき。

市長 庁内で支所の職員体制等についても話し合いをしているので、移行については、今後検討していく。

健康福祉センターと財政、塾問題

石本 勝彦議員

質問 市財政が厳しい中で健康福祉センター建設にどれだけの事業費が必要となるのか。継続する事業や市民生活に影響を与えないのか。

企画部長 事業費は確定されていない部分もあるが、現在の保健センターの倍ぐらいと試算している。経常経費5億円増については、実施計画で対応する。

市長 他の事業に影響はあるが、継続する事業等が後退しないよう計画的に対応する。
質問 (1)平成14年から新学



健康福祉センター完成予定図

習指導要領が改定されると塾への依存度が高くなるのでは。(2)夜遅い塾通いの子供たちをコンビニ等で見かけるが、対策は。(3)学校図書室の充実とピオトープの設置の考えは。(4)学校と地域の交流の考えは。教育長 (1)塾も一つの教育機関として考えており、塾に行つてはいけなと言えない。(3)学校図書室を情報収集、学習資料のセンターにしたい。また、ピオトープの設置は環境教育の一つと考える。すべてに設置するのではなく、個々に対応する。(4)家庭、学校、地域との連携が必要であり、学校評議員制の導入を次年度実施で検討したい。

市長 (2)心配はしていますが具体的な行動がなかった。今後、アンケートなど何らかの

アクションを起こす必要があると認識をもっている。
質問 家庭用生ごみ処理機を購入する際の補助金制度を見直し、増額する考えは。
環境経済部長 平成11年度から1万円を限度額として導入しているが、平成13年度から補助率の見直しを検討したい。

福祉オンブズの設置を早めよ!

山下 修子議員

質問 男女共同参画社会の形成を総合的、かつ計画的に推進することを目的に基本法が国において昨年やつと制定された。女性に対する差別的解消と撤廃に取り組んできた人々の努力の結果である。当市でも男女共生プランに基づき女性政策を推進しているところであるが、政策展開の根拠、事務執行の拠りどころとなるべき条例がまだない。きちんと論点整理をし、地域の視点に立った条例を制定する必要があると考えるが。

市長 将来、基本的には条例化をするが、今はプランの推進に努め、男女共同参画都市宣言の実現を考えたい。
質問 平成10年から近隣に先がけて、生活サポート事業



を実施しているが、(1)「セカンドハウスみんなのいえ」の利用負担額の軽減を図るため、市の補助額を増やすべきである。また、家賃月額8万5千円も補助すべきと思う。民間の熱意ある人の手によって維持されている事業にこそ積極的な支援が必要である。(2)社会福祉法の改正で今回はじめ「手話通訳」という言葉が明文化された。市でもぜひ専任として採用し、聴覚障害者の福祉向上を図ってほしい。

(3)これまで度々取り上げてきた福祉オンブズについて、積極的な答弁なのに一体いつ設置するのか。
市長 (1)行政として最大限の努力をする。(2)社会福祉協議会内に専任の手話通訳者を置くようにする。(3)しばらくの間は相談員の活用で対処していき、それとは別の問題として福祉オンブズを考えたい。

質問 若い人たちに結婚の機会を与えるため、市で行うイベントに参加を呼びかけるなど出合いの場の提供を。
市長 当市では若い人たちの出合いの場は数多くあると思うが、催し物のPRを行い、気軽に参加できるようにイベントも数多く取り入れていく。
質問 6才未満児(就学前)までの子どもを持つ保護者に負担を一切かけさせない努力を行政が行うべきと思うが。
市長 受益者負担の性格から無料にすると不公平感を助長すると考えられるのでむずかしい。
質問 心の教育目標は。
教育長 学校教育において は、知・徳・体の3つの調和

少子化対策に結婚対策と心の教育

長谷川武夫議員

質問 人間市エンゼルプランの基本理念と施策目標は。
市長 子育て支援を基本理念として、子育てが充実する中で子育てをしてみたいと言う方が多くなることを期待している。また、子供は社会の宝であることから、今の子供たちを健全な形で育成していく施策に全力をあげていきたい。

質問 若い人たちに結婚の機会を与えるため、市で行うイベントに参加を呼びかけるなど出合いの場の提供を。
市長 当市では若い人たちの出合いの場は数多くあると思うが、催し物のPRを行い、気軽に参加できるようにイベントも数多く取り入れていく。
質問 6才未満児(就学前)までの子どもを持つ保護者に負担を一切かけさせない努力を行政が行うべきと思うが。
市長 受益者負担の性格から無料にすると不公平感を助長すると考えられるのでむずかしい。
質問 心の教育目標は。
教育長 学校教育において は、知・徳・体の3つの調和

質問 若い人たちに結婚の機会を与えるため、市で行うイベントに参加を呼びかけるなど出合いの場の提供を。
市長 当市では若い人たちの出合いの場は数多くあると思うが、催し物のPRを行い、気軽に参加できるようにイベントも数多く取り入れていく。
質問 6才未満児(就学前)までの子どもを持つ保護者に負担を一切かけさせない努力を行政が行うべきと思うが。
市長 受益者負担の性格から無料にすると不公平感を助長すると考えられるのでむずかしい。
質問 心の教育目標は。
教育長 学校教育において は、知・徳・体の3つの調和

がとれた教育に努力し、21世紀に生きる子供たちへゆとりの中で生きる力を育ませたいと考える。

質問 道徳教育で結婚や子育てへの夢を与える教育はできないか。

教育長 道徳の授業で結婚や育児に関する考えを一方的に押し付けるのはよくないが、異性における互いの理解と尊重、自他の生命の尊重、家族愛の肯定的な見方や態度の育成が大事である。

加治丘陵の公有地化と今後の管理

金子 俊雄議員

質問 総合クリーンセンターを建設する際の地元との約束は。

市長 地元住民から道路整備を8路線、集会所の建設、公園1ヶ所の整備要望があった。現在、集会所、公園、道路3路線の整備が完了した。道路整備については、残り5路線のうち、1路線は平成13年度に実施する。他の3路線については、地権者と交渉中であり、市道B531号線については、現在予定がない。今後とも地権者の協力が得られるよう努力をしていく。

質問 廃プラスチック類の

減容施設建設に対する状況は。

市長 その後、地元説明会は開催していない。リサイクル法の制定によるペットボトル等の分別収集の問題や廃プラスチック類の燃料化によるダイオキシンの問題等で建設は中々むずかしい。今後、安全性やコスト等の問題を十分検討し、拙速に走らないよう解決していく。現状では、宮寺清掃センターを廃棄物の保管場所として利用していく。

質問 加治丘陵の公有地化に向けての考えと対策及び管理は。

市長 25haを公有地化した。自然体験区域105haを第1工事とし、今後は買上げと借地方式の両面で公有地化を図っていく考えである。地権者の理解を得るべく努力をしていく。



加治丘陵内

また、管理については、各種ボランティアグループに協力を願い、不足分については、民間委託等で検討をする。

質問 東金子第1区圏央道高架下に公園の設置要望をしたが、その後の状況は。

環境経済部長 5月に道路公団へ要望書を提出し、9月末に回答をいただく予定。その後、再度公団に専用許可願を提出し、図面化を図っていく。

心理療法士による相談日の設置

金沢実千代議員

質問 複雑多岐にわたる社会構造や人間関係により、あまりにも心が病んでいる人が多い。心の療養が大切なことに着目し、健康福祉センターに専門のカウンセリングが、受けられる相談日を設定していただきたい。

市長 心理療法士を配置し、必要な方のために積極的なPR活動をしていきたい。

質問 小児科の休日夜間救急診療所の実現をすべきであると平成5年の議会で質問をしたが、推進状況は。

市長 健康福祉センター内に初期救急施設と位置づける診療所を開設したい。診療時



間については、土曜・日曜の夜間7時から10時頃までとし、医師については、医師会に協力を要請する。

質問 下藤沢地内に急傾斜面地を開発した8階建てのマンションを建設しているが、雨水の宅地内処理は万全か心配である。また、木の伐採時には、豪雨による土砂災害が想定され、住宅への被害の恐れがあるが、大丈夫なのか。

市長 1時間に50ミリメートルの降雨量でも宅地内処理ができる設計である。また、施工途中の災害については、台風や豪雨によるものであっても原形に手を加えて発生した事故ならば、施工者に補償責任がある。この箇所は注意深く見守る。

質問 公民館の舞台にどん

ちようがあるが、手動式で重いため使用されていない。電動式に改善をすべき。

区画整理事業と産廃処理業者

田中 智義議員

質問 狭山台土地区画整理事業の進捗状況と企業誘致は。

市長 工業専用地域36・6ha中23・4haが利用され、未利用地は13・2ha。企業誘致については、既存12社、新規52社。

質問 工業専用地域内で営業する産廃処理業者は3社あり、近隣を含めると5社になるが、チェック体制は。

市長 西部環境事務所と市が連携をとっている。

質問 新規に進出を予定している産廃処理業者が4社ある。工業専用地域であることから破砕、減容処理を行なう中間処分業、一部保管積み替えを含む収集運搬業が今後増える可能性がある。市としての対応は。

市長 産廃処理業者は遠慮願いたい。排除はむずかしい。今後、早急に指導指針をつくり業者に協力要請をする。

質問 黒須サッカー場の芝



サッカーくじは 青少年に悪影響

対馬ヨシ江議員

は、当初冬の防塵対策として西洋芝が植えられたため、黒須サッカー場には適合しない。年月を経るにしたがい荒れた箇所が多くなり、プレー中に捻挫等のケガも発生している。応急対策と根本的な解決策は、生涯学習部長 サッカー協会の協力により整備をし、今後、エアレーション、3種混合の種まき、転圧をする。また、来年度の実施計画で芝の張り替え、水の確保を図る。

質問 市内小・中学校27校の校庭にある防塵対策用スプリンクラーの状況と今後の計画は。
教育総務部長 土ほこりの多い学校を重点的に考え、8校に設置完了。今後は、計画的に設置していく。

質問 小・中学校の男女別更衣室の設置を求めてきたが、設置を急ぐ必要がある。時期は。
教育長 小学校においては、必要が生じた場合に学校長と十分検討。中学校では、金子中学校、黒須中学校、東町中学校の3校が未設置。今後、学校長と協議し設置をする。

質問 「サッカーくじ」が施行されテスト販売となった。法案には、多くの人が反対した経緯がある。理由は、リーグをギャンブル・スポーツに変質しかねないこと。青少年の人間形成やモラルの発達に新たな障害を持ち込む。スポーツ振興の財源確保は、本質を外れギャンブルの形をとった国民からの新たな収奪になるからだ。青少年の生活に大きくかわる。現状認識は。
教育長 スポーツ振興政策実施の財源確保のため導入。平成13年3月のリーグ開幕から全国販売を目標に準備中。

質問 法律では19歳未満のくじの購入を禁止しているが見分けるチェック機能がない。青少年にギャンブルが持ち込まれる。影響は。
教育長 年齢が疑わしい時は、写真付きの身分証明書で確認。校長会等で意思統一を図るとともに生徒、保護者に正確な情報伝達を図り、制度について理解を得る。

質問 今からでも中止の申し入れを行うべき。見解は。
教育長 むずかしい。

総務部長 市県民税の課税ミスは、10年度0件、11年度1件、12年度1件。固定資産税、都市計画税の課税ミスは、10年度27件、11年度は23件。ミスをなくすよう努力し、即返金する方向で対応する。

質問 学校給食は教育の一環だ。食器にランチ皿が使われているが、改善が必要だ。
教育長 理想の食器に近づけるよう努力中。多額の費用がかかるため、現状維持。

ミスは即返金・ 航空祭飛行中止を

石田 芳夫議員

質問 年金ぐらしの人から市県民税一期分として、1万円あまりを口座から引くべきところを78万円も引き落した。間違えた原因は、年金所得を一桁多く計算したことである。銀行口座から税金、料金、ローンなどを引き落している市民生活は、長引く不況により預金残高をいつも心配している状況だ。行政の責任による課税ミスとこうした市民生活の目線から判断し、陳謝し取り過ぎた分は直ちに返金すべきだ。状況報告と改善策を。

質問 最近、急増している自衛隊機の事故の実態をどのように把握しているのか。ブルーインパルスの墜落事故が7月に松島であり、飛行も再開されていない。事故原因も解明されていない状況であり、11月3日の航空祭の展示飛行の中止を要請すべきだ。
企画部長 今年3月に松島6月に美保でC-1、7月に松島でブルーインパルス2機の墜落事故があり、8名のパイロットが亡くなっている。

市長 7月のブルーインパルス墜落事故で飛行が再開されていないので、今年は無理だと思う。また、事故は絶対に困るので人間基地司令に安全飛行を申入れ、話し合う。

自転車駐車場の 緊急な増設を

横田 敬二議員

質問 入間市駅南口の放置自転車は目に余るものがある。緊急的な対策はとれないか。また、すべての自転車駐車場を有料化にして、民間の協力を得られるような考えは。
市長 当市の顔である入間市駅南口付近の放置自転車は確かにひどい。現在、市営自転車駐車場の屋上を利用して500台位の増設を考えている。3階になることからできるだけ低料金で預かれるようにしたい。また、市内すべての自転車駐車場の有料化については考えていない。

質問 環境を大きく破壊しているもの一つに屋外広告物の違法な行為がある。捨て看板やいがわしい広告物などの簡易除去を県の条例や要領によって、地域の代表者に委任できないか。
市長 違法物であってもみだりに除去することはむずかしい。今後は、市が委任した第三者の業者に撤去をしてもらい、街の美化に一層努力していく。また、青少年健全育成にも心掛けていきたい。

質問 依然として、ポイ捨て





入間市駅南口の放置自転車

元の人達のために協力をするという言葉をいただいた。そして、一緒に地権者の所をまわり、了解を得ることができた。その後、市へ法的手続きをお願いをし、建設会社に東口隣接区の方2千7名の署名をもって要望書を提出した。現在、組合設立認可までのスケジュールを立て、建物建設などの検討も進めているが、武蔵藤沢駅東口周辺の用途地帯の見直しは可能か。

てや不法投棄はなくならない。環境基本計画にある啓発や監視活動の推進には、市民の目や口を借りて活動をしていくのが一番強い。市民に強い意識を持ってもらうためにも条例をつくり、美しい環境の街を守るため「ポイ捨て禁止の街入間市」の都市宣言はできないか。

市長 条例や都市宣言は、考えていないが、更に努力はする。

藤沢駅東口周辺 用途地域の見直し

齋藤 武久議員

質問 武蔵藤沢駅に東口を要望する地域住民等の声があることをたたないことから、建設会社をお願いしたところ、地



武蔵藤沢駅の東側

市長 武蔵藤沢駅東口の整備については、駅周辺の区画整理事業との関連性から市施行の場合、西口の整備が7割から8割程度進捗した段階で考えていきたいと思っている

が、組合施行という形で地権者の皆様に協力をいただけるならば、できる限り技術的な

支援はさせていただきたい。また、用途地域の見直しについては、結論的には可能であるが、さまざまな形で見直しをする場合、いろいろな条件が付くので、その辺の問題を十分地権者間で話し合いをしていただき、一番よい方向で見直しを進めるのがよいと考えている。

車優先から歩行者 優先の道づくり

堤 利夫議員

質問 建設省は、道路構造令を30年ぶりに抜本改正し、来年度の施行に向け準備をしている。改正の主眼は、車を優先してきた道路整備の発想から高齢化時代に対応して、歩行者や自転車の安全や快適性を重視するということである。今後、市の道路行政の取り組みについては。

市長 現在、計画している都市計画道路については、来年度以降事業許可を得て実施する場合、自転車道等の設置を考えると見直しの必要性はある。しかし、地権者への計画変更の説明に対し、理解を得られるか疑問もある。個々の状況判断で慎重な対応が必要である。

質問 街づくりの中で公共

交通を充実させる視点は。市内の交通渋滞を緩和させるため、市内通過車両をバイパスへ効果的に誘導をすべきである。

市長 理念上はそのとおりだが、中小都市の場合、現実的には困難である。市街地の渋滞緩和のために少しでもバイパス誘導をしたい。最大限努力をする。

質問 公園管理については、画一的でなく地域に密着した存在として活用できるような管理を住民に委ねる考えはないのか。年間の委託料は3千万円超である。住民管理により経費削減となり、行政、住民双方にメリットはある。

市長 それぞれの地域でさまざまな要望があると思うので、地域性を加味した公園のあり方を進める。公園管理については、ボランティア意識の醸成になり必要性はある。

心身障害者生活 サポート事業の充実

鹿倉 貞二議員

質問 心身障害児や心身障害者を抱える親は、一時たりとも気が安まらない。学校への送迎、食事、風呂、着替え、遊び、生活のすべてに親が必要である。親は、肉体的、精

神的に疲れ果てても365日休むことができない。これを手助けするのが、障害者生活サポート事業である。この事業は、生活を支援するために障害者家族の必要に応じて、サービスを提供する福祉事業所に対し、利用者が介護を受けた時間に応じて行政が助成するものであるが、十分に利用できない状況にある。その原因は福祉事業所の利用料金と年会費にある。まとまるとかなり金額となり、家計に与える影響は大きい。事業所としても安定した運営をするために下げることが困難である。少しでも利用者の家庭を楽にするためにこの事業に対する補助金の増額はできないか。

市長 最大限の努力をし、取り組んでいきたい。

質問 入間市職員提案規程は、職員が市役所の事務改善や政策的なことを提案する大切な制度であるが、あまり職員に周知されていない。周知され、活用されてこそ制度が生きるものである。活性化、啓発を目的に強化月間が実施されたが、それよりも日々の意識の向上が大切である。経費削減と言ったところで、職員の意識が変わらなければ解決にならない。制度の徹底を求めるが。

総務部長 周知の徹底。そして制度の活性化を図りたい。

環境基本計画について

駒井 勲議員

質問 環境基本計画は、安全で健康、かつ快適な環境の将来世代への継承。環境への負荷の少ない持続的に発展することができると社会的構築。地球環境に配慮した自発的な取り組みの推進という環境基本条例の理念を受けて計画されているが、今後、どのように取り組むを進めていくのか。

市長 市、市民、事業所、団体が一体となって計画の実現に努めていきたい。この計画は、4つの環境像、6つの基本方針、22の基本施策が定めてあり、平成21年度に達成することを目標としている。また、この中には平成21年度までに加治丘陵を80ha公有地化することや環境アドバイザを100人に増やすことなど具体的な数値目標を定めている。目標達成度については、チェックし、市民に示していく。

質問 水道の漏水は、利用者への高額な料金となり、資源の有効利用という点からも重要な問題である。これまで高額な使用料を払った事例は

あるのか。

水道事業管理者 軽減制度により28万1千442円を3万3千600円減額し、24万7千842円とした例がある。

質問 水道の漏水による料金軽減制度について、より多く軽減を図る考えはあるのか。水道事業管理者 近隣市の状況を見ているところだが、二〇〇一年の1月から減免、軽減の措置をとっていき

森の「駐車場のケヤキに「ツミ」が営業

上原 正明議員

質問 自然保護思想の普及啓発施策の現状と動向は。

市長 地球環境は厳しさを増している。自然保護の重要性が叫ばれているが、関心は低い。21世紀は心の時代、保護思想の普及啓発は重要な課題と思う。自然観察会、自然展、自然保護講座、環境展等を実施しているが、今後マンネリ化せず、多くの市民が参加できるように実施して行く。

質問 野鳥展が廃止になる

市長 中央公民館とみどりの課の共催で実施してきたが、今後は環境部門の事業として継続をしていく。

質問 公有地化した加治丘陵



市役所森の駐車場

の活用と管理は。また、ポランテアグループの育成の考えは。

市長 すでに25haを公有地化した。今後、県のトラスト協会で13haが指定される。それらの活用や管理には、多くの市民の力をお借りしたい。また、ポランテアの活用も考えている。

質問 自然保護センターの概要と今後のスケジュールは。

市長 計画はあるが、現在調査中であり、場所は未決定。協議を重ね計画を立てていく。

質問 市役所にある森の駐車場に「ツミ」が営業した。

市長 ツミの営業には驚いている。上空からは、森に見えるのかと思う。自然環境の保全の大切さを痛感する。森

の駐車場は、一市民の提案で設置したものであり、効果はある。現在、計画中の健康福祉センターに第二の森の駐車場を設置する。今後、民間企業等にも緑の保全をPRしていく。

博物館の情報技術 交通バリアフリー

宮岡 治郎議員

質問 博物館アリットについて、(1)開館以来6年間の学芸研究の成果は。(2)新しい情報システムが8月に運用を開始したが、全体の概要と導入の効果は。(3)公開される資料は多彩となり、市民の郷土文化への愛着は増すと期待するが。(4)「人間市の文化財めぐり」解説文の体系化を。(5)国指定重要文化財「高倉寺観音堂」は、内部の木組構造に真価がある。コンピュータ3次元立体画像の制作と展示を。

教育長 (1)専門分野に従事する職員が10人いる。歴史、民俗、自然、地理、科学など多岐にわたり事業を推進。特別展や各種講座の実施、文書目録や調査報告の刊行等がある。(2)市の地域情報化の一環として、各種情報をデータ化し、一元的に管理する。収録資料の提供、映像の公開によ

り、子供を含めて来館者が増えた。(3)見て楽しんでいただきたい。順次画像データを追加する。(4)予算等の兼ね合いもあるが、年次計画的に指摘の点も踏まえ努力したい。

質問 (1)高齢者や障害者等のための「交通バリアフリー法」が、11月に施行される。市としての対応は。(2)市内各駅のエレベーターとエスカレーターへの設置を促進すべきであるが、予定は。(3)仏子駅南改札口の開設時間の延長を。

市長 (1)積極的に取り組む。情報収集等を行い、「基本構想」について研究をする。(2)人間市駅での設置場所を検討中。協議を進めたい。(3)鉄道事業者に要請をしているが、仏子駅周辺の状況は変化している。



国指定重要文化財高倉寺観音堂

市民



今、思っていること

東町 竹井直子(舞踊家)



今、思っていることは、小さな環境問題です。人間市に生れ

育った私は、市の発展にとまどいながらも嬉しく思うし、文化施設の充実にも感謝しているこの頃です。しかしながら、公衆道徳、人の心の豊かさを考えると果してどうでしょうか。例えば、公園や林に投棄されたごみ、駅舎の疲、道路の吸殻など。また、日本の象徴である、あの峻嶒(りようそう)たる富士山が、登山客のごみで汚染されているというではありませんか。日本人のモラルはどこにいったのでしょうか。本当に心が痛みます。道端に咲く可憐な花、

の 声

小鳥のさえずる森、そんな情景に感動を覚えるのは私ばかりではないと思います。日本は四季のはっきりした国。そんな折々の美しい自然を守るには、ひとり一人の心掛けが必要ではないのでしょうか。

市民が安心して暮らせる街に

東町 小川満世(生協嘱託)



私は、この春、リタイヤして、家にいることが多くなり改めて驚いたことがある。航空自衛隊入間基地の騒音である。幼児がひきつけを起しかねない騒音である。80ホーンは超えているであろう爆音である。昨年、防衛庁が防音工事を実施したが、室内騒音は一向に軽減されていない。しかも

三三情報

AMIGO 来年1月

オープンに向けて

仏子駅北側の繊維工業試験場は、平成10年10月に県から市に無償譲渡(一部有償貸付)され、市では跡地利用として古い木造建築の良さを生かし、市民が3つの目的で利用できる施設として再生します。(1)文化創造アトリエは、ミュージック工房(楽器演奏や歌の練習)、コテージ、中庭(催し物やイベント)、アトーフアクトリー(演劇、舞踊、伝統芸能その他の練習、公演)、

サロン(会議、交流会、休憩)の個別の棟から構成され、市民の自由で創造的な文化活動の場として提供されます。また、市民による自主運営が将来の目標となっています。(2)地場産業の紹介の場としては、織物工房(繊維の紹介、織物体験)、染色工房(手染めなどの体験)からなり、物づくりを通じた地域文化と経済の自立と活性化が目的となっています。(3)仏子多目的公園は、上野原公園河川敷と当跡地の河川敷を併せ6千100mの公園を整備し、総合的利用を図り、また、防災上の緊急避難場所としても利用します。

編集後記

入間ケーブルテレビで本定例会(9月議会)から議会中継が全面放映となった。「放送を見た。」と市民の声が聞こえてきたのは、開かれた議会に向け、良い兆候である。

議会も市民にわかりやすい運営が望まれる。9月議会では、すべての議案を一括質疑としたことから答弁も長くなり、何を話しているのか、わからない状況であったことを反省している。このことから早速、議会運営委員会では、改善の検討を始めたことをお

12月定例会日程案

- 12月1日(金)開会
- 12月6日(水)総括質疑
- 12月8日(金)委員会
- 12月12日(火)一般質問
- 12月13日(水)一般質問
- 12月14日(木)一般質問
- 12月21日(木)閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会事務局へお問い合わせください。

☎九六四一一一一
内線5112・5113

知らせいたします。



議会だより編集委員会

- | | |
|-------|-------|
| 鹿倉 貞二 | 養口 順子 |
| 対馬ヨシ江 | 田中 智義 |
| 石本 勝彦 | 宮岡 治郎 |
| 駒井 勲 | 金子 俊雄 |
| 久保 政喜 | 宮岡 榮一 |
| は委員長 | は副委員長 |